

# 河川再生に関わるモニタリング活動アンケート 回答サンプル

## 【質問1】団体のプロフィールを教えてください

モニタリング活動のみならず、あなたの団体が取り組む活動全般の概要についてお答えください。

※【質問1】については、具体内容が分かる既存資料をご提供頂ける場合は、個別に回答頂かなくても結構です。（関連資料はアンケート回答用紙と合わせて返信用封筒に同封下さい）

・団体の名称：

〇〇〇川を守る会

・団体の所在地（市町村まで）：

〇〇県△△市

・団体の設立年代： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

年代	1960 年以前	1960 年代	1970 年代	1980 年代	1990 年代	2000 年代	2010 年代
----	-------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

・団体の活動目的： ※活動理念や使命などでも結構です。

水質調査や水辺の生き物調査、また定期的な勉強会などを通じて、〇〇川流域における地域連携に向けた情報交換と人的交流、また自然環境の保全と再生を目的に活動している。

・団体の主な活動内容： ※関連する活動をすべて選択し、○をつけて下さい。

活動例	河川美化（清掃）	維持管理（草刈）	水質保全・浄化	水質調査	水生生物調査
	自然生態保全	自然再生	植樹・植栽	川の学習	歴史・文化継承
	利水・節水	治水	まちづくり	観光促進	生活改善
	福祉	スポーツ	環境教育	社会啓発	コミュニティ活性化
	流域連携	官民連携	企業連携	国際協力	その他
その他	（キーワード） 水辺写真展、舟遊イベント				

・団体の会員数： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

人数規模	1-10人	10-30人	30-50人	50-100人	100-200人	200人以上
------	-------	--------	--------	---------	----------	--------

・主な活動フィールド（水系名 及び 河川・湖沼名）：

水系名	〇〇水系	河川・湖沼名	△△川
-----	------	--------	-----

**【質問2】 過去において実施したモニタリング活動の概要を教えてください**

これまで（実施中も含む）どのようなモニタリング活動を実施したことがあるかを教えてください。

- ・モニタリング活動の概要： ※複数の活動がある場合は、活動毎に概要を記述して下さい。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年6月の全国一斉水質調査に合わせて流域内の本川・支川〇〇箇所水質調査を行い、その結果を■■中生物部の協力を得て分析し、ホームページで公表している。</li> <li>・〇〇漁協とともに、アユの標識放流調査を行い、魚道の有無によるアユ遡上の調査を定期的実施している。毎年の結果を地図に示し、変化を記録している。</li> <li>・外来植物のアレチウリの除去を地域の子も達と始め、分布状況変化を地図に記録している。</li> </ul>
--

**【質問3】 モニタリング活動を始めたきっかけや実施体制について教えてください**

【質問2】でお答え頂いたモニタリング活動の経緯や実施体制についてお聞きします。

- ・モニタリングを始めた時期（開始年代）： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

開始時期	1960年以前	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	複数あり
	(複数のモニタリング活動がある場合は、活動毎に記述して下さい)							

- ・モニタリングを始めたきっかけ（モニタリングを行う背景や理由）：

<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から簡易的な水質調査を不定期に実施していたが、全国一斉水質調査が始まったのを契機に、同じ地点、同じ時期に水質調査を開始した。</li> <li>・アユ標識放流調査は、〇〇堰に魚道が設置されることとなったため、漁業組合からの提案を受け、その魚道の効果を図る目的で開始した。</li> <li>・アレチウリ除去は、小学校の総合学習における新規プログラム開始とともに始めた。</li> </ul>
---

- ・モニタリングで連携する団体の有無と名称： ※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

連携先	河川管理者（国）	河川管理者（都道府県）	河川管理者（市町村）	河川管理者以外の地元自治体	学校
	他の市民団体	企業	研究機関 専門家	連携なし	その他
具体名称	(具体の行政機関や団体名を記載して下さい) △△県△△事務所、〇〇市まちづくり課、〇〇漁協、■■中学校生物部 流域内6の市民団体、〇〇小学校				

- ・河川管理者の関与（連携）の仕方： ※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

内容	活動資金一部支援	調査機材支援・協力	専門知識の助言・指導	協働作業	調査業務委託	連携なし	その他
具体記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング結果を定期的に報告し、毎年1回、成果発表会を河川事務所で開催。</li> <li>・アレチウリ除去作業に際しての道具の一部を河川事務所より借用。</li> <li>・除去したアレチウリの処分を年2回、河川事務所が協力して実施。</li> </ul>						

・河川管理者以外の連携状況：※具体的な連携内容について記述して下さい。

具体記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質調査及びアレチウリ除去作業は、〇〇小学校の総合学習の一環で教師と生徒とともに実施している。調査結果を〇〇中学校生物部の協力を得ながら地図上に記録し管理している。</li> <li>・上記活動は、沿川市民団体が区間を分担して実施している。</li> </ul>
------	---

・モニタリングの実施頻度（1年間での平均回数）：※あてはまるものを一つ選択し、〇をつけて下さい。

実施頻度	数年に1回(年1回未満)	年1回	年2回	年3~6回	毎月	複数あり
	(複数のモニタリング活動がある場合は、活動毎に記述して下さい) <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質調査は年1回、全国一斉水質調査に合わせて実施。</li> <li>・アユ標識調査は、毎年〇月、〇月、〇月の計三回実施している。</li> <li>・外来種除去は〇と△の年二回。</li> </ul>					

・モニタリングの参加人数（1回の平均的人数）：※あてはまるものを一つ選択し、〇をつけて下さい。

参加人数	1-10人	10-30人	30-50人	50-100人	100-200人	200人以上	複数あり
	(複数のモニタリング活動がある場合は、活動毎に記述して下さい) <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質一斉調査は流域内の小学生も一緒に実施するため参加者は200名弱となる。</li> <li>・アユ標識調査、外来種除去はともに25名前後で実施。</li> </ul>						

・モニタリングに要する概算費用（年間総額）：※あてはまるものを一つ選択し、〇をつけて下さい。

年間費用	なし	1万円未満	1-10万円	11-50万円	50万-200万円	200万円以上
------	----	-------	--------	---------	-----------	---------

・モニタリングに要する費用の財源（調達先）：※あてはまるものをすべて選択し、〇をつけて下さい。

資金源	自己資金	助成金	補助金	業務受注	その他
その他	沿川に工場を持つ企業から寄付金を頂いたことがある。				

**【質問4】モニタリング活動の具体的な内容を教えてください**

【質問2及び3】でお答え頂いたモニタリング活動について、より詳しくお聞きします。

※【質問4】については、具体的な内容が分かる既存資料をご提供頂ける場合は、個別に回答頂かなくても結構です。（関連資料はアンケート回答用紙と合わせて返信用封筒に同封下さい）

・モニタリング実施計画（目的・対象・調査工程等）の有無：※あてはまるものを一つ選択して下さい。

計画の有無	自ら作成した実施計画がある	河川管理者等が作成した実施計画がある	実施計画はない	分からない
具体記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質調査は、全国一斉の計画を参考に、団体独自に計画を立案し実施している。</li> <li>・アユ標識調査は、1年間の調査計画を関係者で作成し、事前に漁協及び河川管理者の許可を得て実施している。</li> <li>・外来種除去については、除去範囲の大凡の目標があるのみで、明確な計画はない。</li> </ul>			

・モニタリングの対象（指標・ターゲット）： ※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

対象	水量	水質	ゴミ	土砂輸送(堆積等)	川の形状(川幅等)
	魚類	底生動物	植生・植物	鳥類	両生類
	爬虫類	哺乳類	陸上昆虫類	プランクトン	その他
具体記述	(COD、水温、透明度、外来魚、ホタル等の具体ターゲット名があれば記入して下さい) ・水質は、全国一斉調査の仕様に従い、水温、CODを測定。 ・稚アユに標識を付けて放流している。 ・アユの移動に影響を及ぼす魚道の上下流の地形変化も定期的に観察している。 ・外来種はアレチウリ				

・モニタリングの方法（調査方法や道具）： ※以下の表を参考に実際に用いた方法を記述して下さい。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質調査はパックテストにより実施。</li> <li>・アユ標識調査は、網による再捕調査を流域の複数地点で実施している。</li> <li>・アレチウリは、踏査により繁茂分布図を年二回作成し、区間を定めて除去している。</li> </ul>
--

※参考： モニタリングで用いる現地調査方法や道具の一例

モニタリングの対象		現地調査方法や道具			
物理環境	水量	水位観測	流速測定	カメラ定点撮影	
	水質	パックテスト	透明度測定	目視観察	
	ゴミ	一斉清掃			
	土砂輸送	カメラ定点撮影	航空写真比較	堆積・侵食量測定	
	川の形状	カメラ定点撮影	航空写真比較	横断測量	
生物環境	魚類	網類	わな類	電気ショッカー	
		潜水観察	目視		
	魚道遡上調査	目視観察	魚道施設調査	遡上調査	
		標識放流	再捕調査	バイオテレメトリー調査	
		魚道内捕獲	網類	わな類	
	底生動物	定量採取	サーバーネット		
		定性採取	網類	わな類	ジヨレン等
	植生	泥採取器機	手で捕まえる		
		植生図作成	群落組成調査		植生断面調査
	植物	写真撮影			
	植物	植物相調査	重要種調査		外来種調査
	鳥類	スポットセンサス法	集団分布値調査		
	両生類	目撃法	捕獲法		フィールドサイン法
	爬虫類	目撃法	捕獲法		フィールドサイン法
		わな類			
哺乳類	目撃法	捕獲法		フィールドサイン法	
	わな類	無人撮影器機			
陸上昆虫類	任意採取	ライトトラップ		わな類	
	目撃法				
プランクトン	採水法	ネット法			

## 【質問5】モニタリング活動の結果について教えてください

【質問4】でお答え頂いたモニタリング活動から得られた結果についてお聞きします。

- 水質改善、稚魚数増加、外来種減少等の変化(効果)の有無： ※あてはまるものを一つ選択して下さい。

変化(効果)の有無	確認できた	確認できていない	その他	複数あり
-----------	-------	----------	-----	------

- 確認できた場合は、どのような変化(効果)が確認できたかを教えてください。確認できていない場合は、予想される原因等をご自由に記述して下さい。:

- 水質調査については、CODが〇年前より△△mgO/L減少した地点もあるが、ほとんどの地点では大きな変化が見られない。〇〇川本川はここ数年は水質が安定してきたためと思われる。
- アユ標識放流調査は、魚道の設置状況・形状等による遡上個体の差を定量的に把握しつつある。
- アレチウリは、繁殖の拡大は防げているものの、減少までは至っていない。より正確に繁茂状況をモニタリングする必要がある。

- モニタリング結果の活用の有無： ※あてはまるものを一つ選択し、〇をつけて下さい。

結果の活用	結果を分析し活用している	活用できていない	その他	複数あり
-------	--------------	----------	-----	------

- モニタリング結果の共有(管理)方法や具体的な活用方法について教えてください。:

- 水質観測記録、アユ遡上記録、外来種繁茂状況について、地図にモニタリング結果を記録し、経年変化を管理している。
- 上記の調査記録を団体ホームページから閲覧できるように管理し、関係者で共有を図っている。

## 【質問6】モニタリング活動全般に対するご意見をお聞かせください

- モニタリング活動の自己評価(5段階)： ※あてはまるものを一つ選択し、〇をつけて下さい。

(1)関係者でモニタリング活動の目的を共有して取組めた。	5	4	3	2	1
(2)モニタリング活動が自分達の意識向上につながった。	5	4	3	2	1
(3)モニタリング活動が地域関係者の意識向上につながった。	5	4	3	2	1
(4)モニタリング活動を行うことで他の活動への参加者も増えた。	5	4	3	2	1
(5)モニタリング活動を通じて河川管理者との連携が深まった。	5	4	3	2	1
(6)モニタリング活動により専門知識・技術の向上が図られた。	5	4	3	2	1
(7)計画(想定)した精度のモニタリング活動を実施できた。	5	4	3	2	1
(8)モニタリング活動が河川環境の改善につながった。	5	4	3	2	1
(9)モニタリング結果を次の河川再生に向けた活動に反映できた。	5	4	3	2	1

※5段階： 5(満足)、4(やや満足)、3(そう思う)、2(やや不満)、1(不満)

・モニタリングを実施して役立ったこと、良かったことなど：

- ・ 明確な調査対象が定まり、またその変化（改善の効果）を参加者で共有できるため、河川での活動への参加者が増えた。
- ・ 改善の効果を定量的に示すことで、河川環境の更なる改善に向けた河川管理者との具体的な議論ができるようになり、相互の信頼関係が深まった。

・モニタリングを実施する上での課題・苦勞： ※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

課題	①専門知識・技術	②調査精度	③結果の評価・活用	④活動資金
	⑤要員体制	⑥継続性	⑦関係者連携	⑧その他
具体記述	<p>（その他を含め、上記で選択した課題・苦勞を具体的に記入して下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ②調査精度の問題として、.....</li> <li>・ ④活動資金については.....</li> <li>・ ⑤要員体制の問題として、平日は.....</li> </ul>			

・今後予定しているモニタリング、新たに実施したいモニタリング等：

## 【質問7】アンケート実施後の更なる協力に関するご意向を確認させていただきます

本アンケート調査の集計・分析結果を「河川再生に関わるモニタリング活動事例集（仮題）」で紹介させて頂く際には、個々の団体名は明かさず、匿名にて掲載させていただきます。

一方、この集計・分析結果とは別に、希望される団体について、各団体が取組むモニタリング活動の概要を、活動場所（地図で表示）や活動状況の写真とともに団体名入で紹介させていただきます。

この事例集への個別事例掲載（団体名入）に関するご希望をお聞きします。なお、希望された団体には、本アンケート実施後、一部追加情報や写真等の提供を改めてお願いさせていただきます。

・事例集への団体名入り掲載希望確認： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

事例集への個別事例掲載	希望する	希望しない
協力可能な場合のご連絡先 (後日改めてご連絡を差し上げます)	担当者氏名： ○○ ○○ 電話番号： 03-XXXX-XXXX Email: info@a-rr.net	
その他 (事例集掲載時のご要望等)	・今後の追加データやり取りは電子メールを希望します。 ・9月は不在のため、8月中にご連絡ください。	

## 【質問8】その他

最後に、本アンケート調査に関連したご意見、ご要望等がございましたらご記入下さい。

(例：本調査全体について、PRAGMO 日本語版に対して、JRRN への期待 等々)：

アンケートは以上となります。ご協力、ありがとうございました。